

文庫あれこれ◆抱えていた忙しい仕事が終わってようやく肩の荷を降ろせました。◆文庫の助っ人さんには大変ご迷惑をかけてしまいました。◆一般のみなさんにはあまりご縁のない会ですが、40年、子どもと本をつなぐ様々な運動をしてきた親地連の全国交流集會がおかげさまで成功裡に終わりました。知らないところで、手弁当で子どもの世界を支え、子どもの環境を守るために、国や自治体に問いかけ、協働している人々がいます。◆交流集會の初日は私の誕生日でした。1日中、事務局として広いオリンピックセンターの中を飛び回っておりましたが、夜空を仰ぐと、中秋の名月が代々木の森のこずえの天辺にまあるく明るく照っていました、心に残る66歳の出発日でした。◆この日はまた、韓国ではチュソクと言って、韓国中の人々が故郷に集い、祖先を敬う日と聞きました。◆そのあと、母を連れたいつもの旅で、瀬戸内海の小さな島・豊島で一泊してきました。ほんの1日でしたが、心がほぐされ、切り替えができたように思います。◆豊島には、鞆の浦から船に乗りましたが、鞆の浦は、風情のある湾をまたいで橋を架けることで(新聞紙上でご存じの方もいるかと思いますが)住民がふたつに割れ、県と争っている話題のところでした。時間があって、ふしぎなのどかさの残っている湾のまわりを散策しましたが、今を残そうと絵を描いている人々がたくさんいました。◆幼い子どもたちに人気の「崖の上のポニョ」の構想(宮崎駿さんによる)が生まれた場所としても有名です。◆大室もいつまでも今の自然が残るとよいですね。◆蔵書データが皆さんに利用されるよう、システム係のNさんがいろいろ修正してくださっています。次は、ホームページを活用いただけるよう、考えていきたいと思います。◆秋は駆け足で過ぎ去ります。東京では、静かにインフルエンザ新型? が広がっているようです。みなさん、日ごろの体調を整えられませう、風邪をひかないでこの冬を乗り切りましょう!

(西村)

秋になると ふとしたことまで うれしくなる
 そこいらを 歩きながら
 うっかり路をまちがえて きついた時など
 なんだか ころころ うれしくなる (八木重吉)

“ “これからの催し物のお知らせ” ”

おでかけください!

★秋の夜長のおはなし会★

今日・日曜日(10/18) 夕方5:30~7:00 予定

会場 沙羅の樹文庫

対象 小学生以上から大人まで

参加費 無料

語り手 ゲスト+〈おはなし・沙羅〉メンバー

文庫から生まれた〈おはなし・沙羅〉。今回はグリムの昔話に挑戦。この機会にぜひ、たくさんのグリム話を知ってください。

また、今回は、在住の吉川さんの朗読で青木玉(幸田文娘)の美しい日本の風情いっぱいの短篇をお聴きいただきます。語りと一味ちがう、耳からの文学を一緒にしましょう。

★クリスマスお楽しみ会・おはなし会★

日時 12月20日(日) 午前10:30~12:00

☆☆今後の開館スケジュール☆☆

◆11月は変則です。11月7日(土)、8日(日)

◆12月は通常。19日(土)、20日(日)

◆10年1月は通常。16日(土)、17日(日)

◆10年2月は通常。20日(土)、21日(日)

◆文庫の時間：土曜日は午後2時~5時、

日曜日は午前10時~午後3時

◆毎月開館日の日曜には、「子どものための小さなおはなし会」があります。

午前10:30~11:00

●文庫開館日は毎月、第3日曜とその前日の土曜日の2日です(従って第3土曜日でなく第2土曜日ということもあります)。

《楽しんで読み聞かせ・頑張っておはなし》
 みんなで勉強会(おはなしの会・沙羅)

★11月7日(土)11時~です。クリスマス会
 おはなし会の打ち合わせをします。

連絡先：沙羅の樹文庫

電話 0557-51-3737

沙羅の樹文庫便り

No.38

(2009年10月号)



すっかり秋らしくなりました。
 季節はずれの台風が行ったあと
 木犀が香りはじめ、いまは地面に木犀の花の
 絨毯・・・と、友からの便り。

金木犀は姿を見せずほのかに、でもしっかりと漂ってくるそのかおりで秋の深まりを感じさせてくれますが、こんなきれいな花だったのですね。

花言葉は、謙遜、真実、陶醉、初恋…。
 東京の街なかを慌ただしく通り過ぎる人々の足をひととき、胸キュンの切なさとおまさと懐かしさで、歩調をゆるめさせてくれますね。秋たけなわです。

親地連「全国交流集会」に参加して

中西 景子(10月3日4日)

初めて参加しました。こうした集会があることは知っていましたが、特に何も活動していないので気後れしてしまっていました。

今回の参加は「韓国」と「長谷川摂子」にひかれたからです。

90年代末に夫の韓国赴任に便乗して、韓国の国立中央図書館で日本語資料のチェックという仕事をボランティアでさせていただきました。日本語ができる職員がたくさんいて、一年韓国語を勉強して行ったのですが何にも役にたちませんでした。一緒にの食堂でお昼を食べ、「日本語教室」の勉強会に参加しました。職員が安く利用できるお店で、絵本をいっぱい買ってきました。韓国の昔話は「昔々、トラがタバコを吸っていた頃」と始まるのが多いのよ、という話にびっくりしました。日本でまだ出版されていなかった英語からの翻訳のすてきな絵本や、絵を見ただけで日本の昔話によく似ているなあに興味を持った絵本もありました。そんなことで「韓国の絵本と図書館」にとっても興味がありました。機会があれば「ヌティナム図書館」に行ってみたいなあと思うほど、新しい一歩を刻んだお話がすてきでした。

長谷川摂子さんは「とんぼの目玉」を読んだばかりでした。絵本もいくつか、「人形の旅立ち」も読んでいて、お話に興味がありました。「やめられない絵本読み」は子どもたちに本を読んであげるときのたくさんのヒントがありました。ご自身がとても絵本を楽しんでいらっしゃるようですが伝わってきて、こちら也十分に楽しかったです。

韓国の報告や、長谷川摂子の講演はもちろんよかったです。土曜日夜と翌日午前中の交流分科会で、たくさんのお仲間が全国でいろいろな文庫活動を何年もがんばってやっていらっしゃるのを知ったことが、何よりもこれからの私の励みになると思いました。

4人部屋の夜も楽しかったし、もっともっとたくさんの方たちと交流できたらよかった、と思いました。

(09.10.3~4)

★「韓国の絵本展」につなげて

子どもと本をつなぐ活動をしている〈親子読書・地域文庫全国連絡会〉(西村所屬)が2年に1度開催している全国交流集会(於:東京・オリンピック記念青少年センター)に、文庫から中西さん、稲本さん、高橋さんが参加してくださいました。韓国の私設図書館・ヌティナム図書館館長朴英淑さんを講師にお迎えしたこともあり、「韓国絵本展」を同時開催しました。韓国の原書、日本語に翻訳されたものを合わせて120余冊を一堂に集めました。その中には、勿論、中西さんが韓国から買ってらっしゃったものもたくさん入っていました。今、韓国の絵本は素晴らしいです。中西さんからお借りしていますので、文庫でござんください。

朴さんが作った図書館とは、広さも、創設に対する考えの深さも及ぶべくもありませんが、ヌティナム図書館も子どもだけでなく年齢を問わず広く門戸を開いてサービスするところ(沙羅の樹は会員制ですが)は、同じだと嬉しくなりました。

それにしても、中西さん、稲本さん、この交流集会で参加したところでも、沙羅の樹のことを宣伝して下さって沙羅の樹は可愛がられているなあ、とこれまた嬉しくなりました。

紹介・文庫にある「韓国の絵本」から

『ことりはことりは木でねんね—韓国のこもりうた』(チョン・スニ作 松谷みよ子訳 童心社 07)※2歳の孫に読んできかせたら、その晩ずっとこれを読ませられました。絵が何ともしばらしい。夕なすむとき、水彩の色調が懐かしい。こんな静かな夕暮れ、ふぁっとしたあたたかい母と子の原風景が美しい。

『きょうはソンミのういでキムチをつけるひ』(チェ・インソン作 パン・ジョンファ絵 ピョン・キジャ訳 セーラー出版 06)母から子に伝わってゆくその家独特のキムチ作り。韓国特有のユーモアいっぱいのお話。

『マンヒのいえ』(クォン・ユンドク絵と文 みせけい訳 セーラー出版) マンヒの一家はちいさなアパートからおじいちゃん、おばあちゃんの家に移りました。古い、広い韓国の家は? 『こいぬのうんち』(クォン・ジョンセン文 チョン・スングク絵 ピョン・キジャ訳 平凡社) 目立たないもの、弱いものに対するやさしさがこめられた絵本。

『ソリちゃんのチュソク』(イ オクベ絵と文 みせけい訳 えセーラー出版)秋の収穫がはじまる日・この日には韓国中が、日本のお盆のように、故郷に帰ってお墓参りをします。今年10月3日がチュソクでした。まだまだあります。

新刊・新入庫 紹介

おとなの本

『橋のない川 1~7 改版 新潮文庫』『ノモンハン戦争 モンゴルと満洲国 岩波新書』『男の晩節 日経ビジネス人文庫』『私小説 ちくま文庫』『ココ・シャネルという生き方なぜ、彼女はウエディングドレスを拒んだのか?』

『住井すゑ対話集 1 橋のない川に橋を』『アリソン・アトリーの生涯 物語の紡ぎ手』『だから人は本を読む』『日本の女帝の物語 あまりにも現代的な古代の六人の女帝達 集英社新書』『通訳ダニエル・シュタイン 上下』『巨匠たちの迷宮 名画の言い分』『アメリカの鳥(世界文学全集 2-04)』『ちりかんすずらん』『懐かしき友への手紙』『瀬戸内寂聴に聞く寂聴文学史』『同期』『たまたま 日常に潜む「偶然」を科学する』『須賀敦子が歩いた道』『ふじいろの童話集』

子どもの本の紹介(絵本)

『ヤモリ 育てて、しらべる日本の生きものずかん 10』
『はらぺこライオン インド民話』『ねこはしる 名作児童文学紙芝居』『さるとわに 改訂新版 ジャータカ物語より』『魔術師アブドゥル・ガサツィの庭園』『うさぎのさいばん』『とらとほしがき 韓国のむかしばなし』『きもち』『なんのいろ はる』『なんのいろ なつ』『なんのいろ あき』『セシリ一の冒険』『ヒマラヤのふえ』『にげだしたひげ』『まるのうた』『ホットケーキ(おはなしのろうそく愛蔵版)』『明日に続くリズム』

※下線はリクエスト

長谷川摂子さんが楽しい読み聞かせをしてくださった本 (※以外は、文庫にあります)

のねずみチュウチュウおくさんのおはなし
ぞうのババル
おおきくなったら*
おおかみと七ひきのこやぎ
くだもの
おやすみなさいコッコさん
サンドイッチ サンドイッチ
もけら もけら
ふわふわくんとアルファベット
やさいたちのうた*
くらい くらい
サルビルサ